

# (株) ジャパンエンジンコーポレーションの事業基盤強化計画(抜粋)

別紙

## 企業概要

- 船用低速エンジンの世界3大ブランドの1つである「UEエンジン」について、世界で唯一、開発から設計、製造、販売、アフターサービスまでの一貫体制を備えている。
- 創業以来110年を超える長年にわたり培ってきたモノづくりのノウハウと、最先端の技術力を集結した高信頼性、高経済性、親環境性を追及した付加価値の高いエンジンを提供することで、日の丸エンジン「UEブランド」の伸長と発展、さらには企業価値の向上を図っている。



## 計画の概要

- これまで、NO<sub>x</sub>、SO<sub>x</sub>、CO<sub>2</sub>の排出抑制のため、排ガス再循環(EGR)や脱硝触媒装置(SCR)、層状噴射技術などの様々なソリューションを提案してきた技術力を活かし、国際海運における温室効果ガス(GHG)排出削減を加速するべく、エンジンの燃料を、従来の重油から次世代のアンモニア・水素への転換する取組に挑戦する。
- 具体的には、ライセンスとしての強みを活かし、アンモニア・水素燃料エンジンを自社で開発・製造し、社会への実装を推進する。

<計画実施期間> 2023年8月～2028年3月

<実施場所> (株)ジャパンエンジンコーポレーション 本社工場(兵庫県明石市)

開発中の水素・アンモニア燃料エンジンのイメージ



UEC-LSJA  
Ammonia fueled engine



UEC-LSGH  
Hydrogen fueled engine

# (株)マキタの事業基盤強化計画(抜粋)

## 企業概要

- 1910年の創業から100年以上にわたり、「よりよい船舶用エンジンづくり」に心血を注いでいる。
- 「船用ディーゼルエンジンの製造・サービスを通じて、海上輸送の発展・安全に貢献する」を企業理念として、船用ディーゼルエンジンの世界シェアNo.1であるドイツのMAN Energy Solutions社のサブライセンサーとして、船用ディーゼルエンジンの製造・サービスを基軸とした事業展開・環境変化に適応した事業運営を実施。
- 特に、シリンダ径300～460mmの小口径2ストロークエンジンでは、世界のトップシェアを獲得している。



## 計画の概要

- 昨今の環境対策への社会的要請を踏まえ、大手船会社がガス燃料に舵を切ったことから、小型主機関もガス燃料化のニーズが高まっている。このようなマーケットニーズに対応するべく、2026年度を目標に、環境対応型の二元燃料エンジン※の開発・製造を行う。  
※2種類の燃料を使用して運転できるエンジン
- また、電子制御主機関の開発から10年がたち、その普及が進んでいる。今後、更に電子制御主機関の部品に係るメンテナンスのニーズが高まることが予想されることから、アフターサービスの強化に取り組み、客先のニーズを漏らすことなく受注につなげることを目指す。

<計画実施期間> 2023年8月～2028年3月

<実施場所> (株)マキタ 本社工場(香川県高松市)

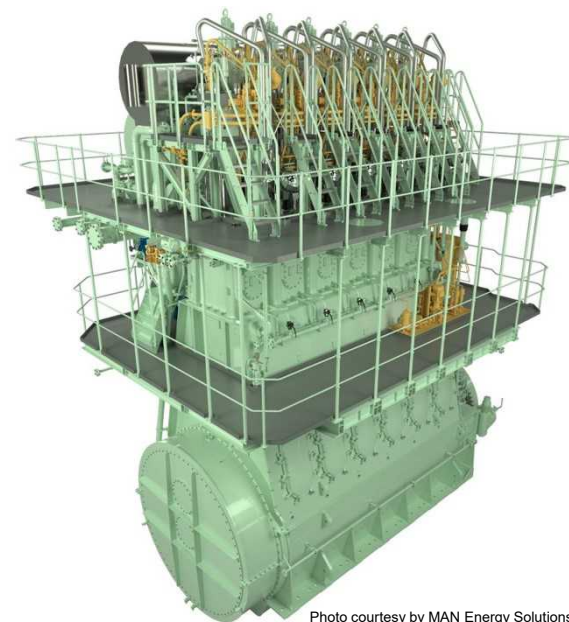


Photo courtesy by MAN Energy Solutions

# 村上秀造船グループ※の事業基盤強化計画(抜粋)

※村上秀造船(株)、(株)カナサシ重工

## 企業概要

- 村上秀造船(株)は、1917年の創業以来、一世紀以上に渡って「誠実と和」をモットーに造船業に従事。
- 主に油タンカー、ケミカルタンカー、LPG船やセメント運搬船といった特殊船の建造・修繕を、顧客の細かな要望に応えたオーダーメイドで行っている。
- 2014年には(株)カナサシ重工をグループ会社化し、建造能力とコスト競争力の強化に取り組んでいる。



村上秀造船(株)



(株)カナサシ重工

## 計画の概要

- カーボンニュートラルに向けて、新燃料の候補として重油に比べてCO<sub>2</sub>排出量が少ないLNGやLPGに加え、グリーンメタノールやアンモニア・水素などが挙げられており、全方位的な技術対応が必要とされている。
- これら新燃料については、大型船でLNG・LPG燃料化の技術対応が進んでいる一方、中小型船では未だ建造実績が少なく、技術が確立されていない。
- そのため、中小型のケミカルタンカー・LPG船について、現状の重油からの燃料転換を図るべく、メタノール、LNG、LPG又はアンモニアを燃料とする船舶を開発・建造する。

<計画実施期間> 2023年8月～2027年11月

<実施場所> 村上秀造船(株) 本社工場(愛媛県今治市)  
(株)カナサシ重工 本社工場(静岡県静岡市)



ケミカルタンカー



LPG船